



1400人が日頃の教養や文化活動の成果を披露 いきいき元気高齢者による寿文化祭を開催

とき 9月19日(木)・20日(金) 午前10時～午後4時 ところ 練馬文化センター小ホール、展示室

19日、練馬文化センターで高齢者が日頃の教養や文化活動の成果を披露する寿文化祭が始まった。寿文化祭は、敬老月間である9月に毎年開催しており、今回で47回目。(主催：練馬区老人クラブ連合会 後援：練馬区)

民謡、歌謡、詩吟、コーラス、フラダンスなどをいきいきと健康的に演じる芸能大会(出演者88組)と油絵、書道、写真、手工芸作品などの作品展(出展作品118点)が行われた。

芸能大会では、総勢80人で歌うコーラス曲「河口」(かこう)が披露され、会場を盛り上げた。平均年齢78歳のこのコーラスグループは、毎年寿文化祭に参加しており、今年も張りのある美声をホールに響かせていた。出演した女性(92歳)は「毎年この大舞台のために一生懸命練習しています。声を出すことが、健康の秘訣です」と話してくれた。日頃の練習の成果を存分に発揮する高齢者の姿に、観客から暖かい声援が贈られていた。

主催者である練馬区老人クラブ連合会会長の増田 時枝さんは、「多くの方々に支えられてこれまでやってきた。一人でも多くの会員を増やせるよう頑張り、健康な地域づくりに貢献していきたい」と話す。

また、この日は、練馬区高齢者福祉功績者(団体)感謝状贈呈式が行われ、老人クラブの運営に功績があった個人および団体に対し、志村 豊志郎練馬区長から感謝状が贈呈された。

寿文化祭は、20日(金)まで開催している。入場無料。



コーラスの様子



作品展の様子

【高齢者福祉功績者(団体)感謝状贈呈式】

長年老人クラブの会長を務めた区民7名、および老人クラブとして清掃活動などの社会奉仕活動や、書道教室の開催など、生きがいを高める活動等で功績があった3団体に、区長から感謝状が贈られた。

【練馬区の高齢化と長寿者】

練馬区においても、人口の高齢化が急速に進んでおり、65歳以上の高齢者は約14万7千人、区の総人口約71万2千人(外国人を含む)に占める割合は20.7%となっている。(平成25年9月1日現在)。なお、区内で100歳以上の長寿の方は、342人いる。最高齢者は112歳。

【練馬区老人クラブ連合会】

区内の老人クラブ加入者を会員とし各単位老人クラブ間の連絡調整、育成指導のための活動を行っている。会員はボランティア精神をもって社会活動を促進すると同時に、全区的活動を行うことにより高齢者の生きがいと健康づくりを促進し、福祉と明るい社会づくりに貢献することを目的に活動している。

区内の老人クラブ数 138クラブ(会員数10,667名)、連合会は、昭和36年4月結成

【問い合わせ】健康福祉事業本部 福祉部 高齢社会対策課 事業係 電話 03-5984-4763